ナンバーディスプレイ通知アダプタ

FSK－DST 4ch

取 扱 説 明 書

株式会社 レッツ コーポレーション

はじめに

　このたびは、ＦＳＫ－ＤＳＴ　４ｃｈ（以降、本装置と記述）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
　本装置は、ナンバーディスプレイ（以降、ＮＤと記述）情報をＲＳ－２３２Ｃを利用してＰＣに通知するための装置です。
　本装置は、ＩＮＳ６４回線Ｕ点接続専用の端末です。ＩＮＳ６４回線Ｕ点以外の回線には、接続することができませんのでご注意下さい。
　本装置は、ＩＮＳ６４回線（Ｕ点）を２回線（４ｃｈ）接続することができます。

　この説明書を良くお読みいただき、本装置の機能を十分発揮できますように正しくお取扱い、運用いただきますようお願い申し上げます。この説明書は保証書、付属品と共に大切に保管してください。

ご使用上の注意

○本装置及び付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益又は第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
○本装置及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
○本装置の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通信、録音等の機会を逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意：本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

□　ご利用の前に以下の内容を御確認ください　□

●本装置はナンバーディスプレイ情報をＰＣへ通知する装置です。

●接続できる回線は、ＩＮＳネット６４回線のＵ点です。
　ＳＴ点での接続は行えません。

●接続する回線のご契約上の確認が必要になる場合があります。
　回線及び環境に応じて設定を変更する必要があります。

●本装置は、回線の付加サービスである多重機能（フレックスホン）へは対応していません。

●本装置の電源がオフの時は、回線側Ｕ点と端末側Ｕ点が直接つながります。
　（電源ＯＦＦ時回線スルー接続）
　このときＰＣへのナンバーディスプレイ通知は行われません。

●本装置はＤＳＵを内蔵しています。

●接続される回線がＩＮＳネット６４回線と規格が異なる場合、該当回線への接続は行わない
　でください。

●ビジネスホン主装置やＰＢＸの内線側には接続できません。

●警備の通報回線など、緊急時に利用される回線への接続は行わないでください。

●本装置の前後の回線上に他の装置などが接続されている場合、正しく動作しない場合や、
　接続できない場合があります。

●設置場所の回線環境により、正しく動作しない場合や、接続できない場合があります。

1．本装置を使用するための準備

1．1　必ずお読みください

この取扱説明書は、本装置の取扱方法および各機能の操作方法について説明しています。

●安全に正しくお使いいただくために
この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の様になっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して，誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容示しています。

お願い：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の性能を十分に発揮できない場合や、機能停止が停止する恐れのある内容を示しています。

絵 表 示 の 例

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図は湿度の高い場所への設置禁止）を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図は火気のそばへの設置禁止）を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図はＡＣアダプタをコンセントから抜く行為）を示しています。

注 意 事 項

■設置場所について

⚠ 警 告

●湿度の高い場所への設置禁止
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

●火気のそばへの設置禁止
本気や電源コードを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。カバーや電源コードの被服が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。

●温度の高い場所への設置禁止
直射日光の当たるところや、湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。

●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止
調理台のそば等油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。

⚠ 注 意

●不安定な場所への設置禁止
ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。
また、本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて転倒したり、落下してケガの原因になることがあります。

●通風孔をふさぐことの禁止
本機（カバー）の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。次のような使い方はしないでください。
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける
- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む

お願い	●本機を正しく安全に使用していただくために、次のようなところへの設置は避けてください。 ・ほこりや振動が多い場所 ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所 ・ラジオやテレビ等のすぐそばや強い磁界を発生する装置などが近くにある場所

■使用について

⚠ 警　告

●**発煙への対処**
万一、煙が出ている、変な臭いがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の AC アダプタを抜いて、煙が出なくなる事を確認してから、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険です。絶対おやめください。

●**水が装置内部に入った場合の対処**
万一、内部に水が入った場合は、すぐに本機の AC アダプタを抜いて、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●**異物が装置内部に入った場合の対処**
本機（カバー）の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物等の、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本機の AC アダプタを抜いてご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災。感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●**電源コードが傷んだ場合の対処**
電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本機の AC アダプタを抜いてご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

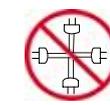
⚠ 警　告

●**商用電源以外の禁止**
家庭用電源（AC100V）以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、やむを得ず同じ電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

●**AC アダプタ**
専用の AC アダプタ以外は絶対に使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

●**電源コードの取扱注意**
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが損傷し、火災・感電の原因となります。

●**ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

●**たこあし配線の禁止**
テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

●アダプタの取扱注意
AC アダプタを抜くときは、必ず AC アダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●乗ることの禁止
本機に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

⚠ 警 告

●改造の禁止
本機を分解・改造しないでください。故障・火災・感電の原因となります。

●水濡れの禁止
本機に水がかかったり、入ったり、濡らないようにご注意ください。故障・火災・感電の原因となります。

●異物混入の注意
本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

●雷のときの注意
雷が激しいときは、AC アダプタとモジュラーコードを抜いてください。落雷よって火災・感電の原因となることがあります。

●ＡＣアダプタの清掃
ＡＣアダプタとコンセントの間にホコリやゴミなどが堆積してしまう場合は、定期的に（半年に１回程度）に取り除いてください。火災・感電の原因となることがあります。

１．２　回線接続の前に

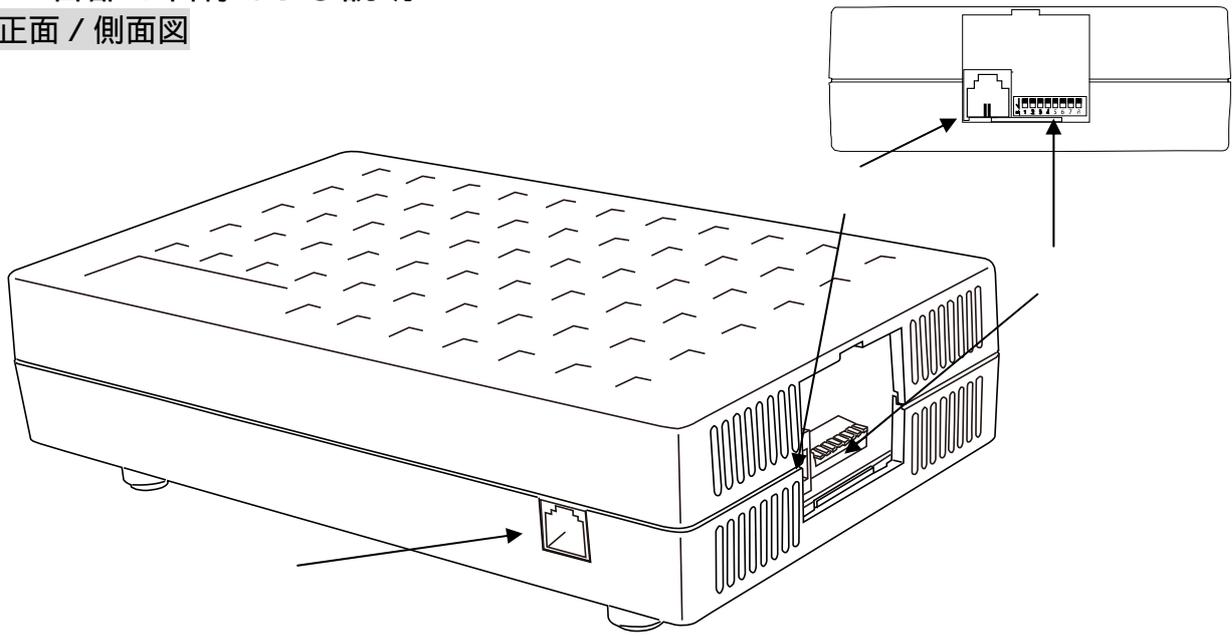
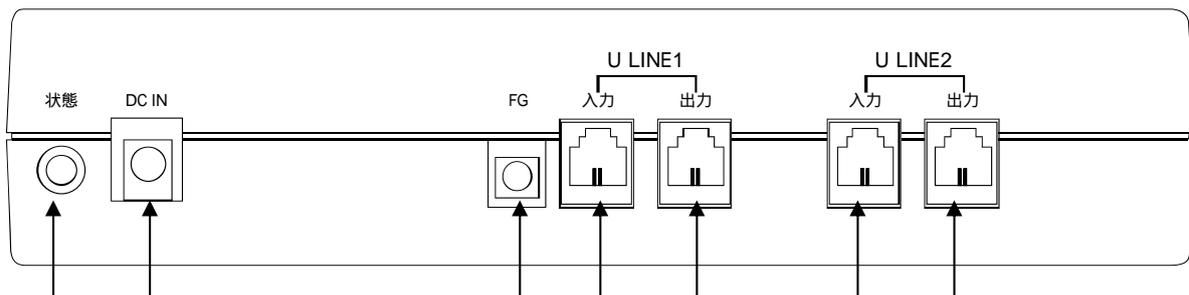
・本装置は、ＩＮＳ６４回線Ｕ点接続専用の装置となっています。本装置にアナログ回線、ＩＮＳ６４回線ＳＴ点は接続できません。

１．３　商品構成

ご使用いただく前に、梱包されている内容が全てそろっているか確認してください。
万一、不足している物がある場合は、お手数ですがお買い上げの販売店にご連絡ください。

1	本体	1台
2	ＡＣアダプタ（１２Ｖ，２Ａ）	1個
3	ＡＣアダプタコンセントコード	1本
4	ＲＳ－２３２Ｃケーブル（2m）	1本
5	ＲＳ－２３２Ｃ変換ソケット（接続モジュラー付き）	1個
6	増設インターフェースケーブル	1本
7	モジュラーコード（2m）	2本
8	取扱説明書（本書）	1冊
9	Ｍｉ－ａｉｒ　インストールＣＤ	1枚

1．4　各部の名称および説明

・正面／側面図

・背面図

＜各部の説明＞

項番	名称	表記	説　　明
①	外部接続端子1		PCもしくは本装置同士の接続を行う端子です。
②	外部接続端子2		本装置同士の接続を行う端子です。
③	設定スイッチ		各設定を行います。
④	状態表示ランプ	状態	動作の状態表示を行います。
⑤	電源コネクタ	DC　IN	付属の専用ACアダプタ接続用のコネクタです。
⑥	アース端子	FG	アース設置用の端子です。
⑦	回線1回線側端子	ULINE1入力	回線1回線側U点ケーブル接続用コネクタです。
⑧	回線1端末側端子	ULINE1出力	回線1端末側U点ケーブル接続用コネクタです。
⑨	回線2回線側端子	ULINE2入力	回線2回線側U点ケーブル接続用コネクタです。
⑩	回線2端末側端子	ULINE2出力	回線2端末側U点ケーブル接続用コネクタです。

※①，③は、通常蓋で閉じられています。設定を行う場合は蓋を取り外す必要があります。

＜ディップスイッチの説明＞

・ディップスイッチ説明　（ＤＳＷは、上がＯＦＦ、下がＯＮとなります。）

Ｎｏ．	名　　　称	初期値	内　　　容
1	回線１のメンバーズネット対応	ＯＦＦ	通常回線
		ＯＮ	メンバーズネット回線
2	回線１のＰ－ＭＰ，Ｐ－Ｐ切り替え	ＯＦＦ	Ｐ－ＭＰ
		ＯＮ	Ｐ－Ｐ
3	自動手動	ＯＦＦ	自動
		ＯＮ	手動
4	予約済み	ＯＦＦ	変更しないで下さい。
		ＯＮ	
5	回線２のメンバーズネット対応	ＯＦＦ	通常回線
		ＯＮ	メンバーズネット回線
6	回線２のＰ－ＭＰ，Ｐ－Ｐ切り替え	ＯＦＦ	Ｐ－ＭＰ
		ＯＮ	Ｐ－Ｐ
7	自動手動	ＯＦＦ	自動
		ＯＮ	手動
8	予約済み	ＯＦＦ	変更しないで下さい。
		ＯＮ	

（網掛け部）は初期設定（出荷時は、全てＯＦＦ（上））

注：ディップスイッチを変更した場合は必ず電源を再投入して下さい。
設定が正しく反映されず、誤動作の要因となる場合があります。

＜状態表示ランプの説明＞

状態表示ランプは、赤色が回線１、緑色が回線２の状態を表します。
回線１（赤）、回線２（緑）の状態ランプは、以下の状態を表します。

ランプ状態	内容
消灯	電源ＯＦＦ時は、ランプは消灯します。 電源ＯＮ時に、ランプが消灯している場合は、電源に問題があるか、本体の故障が考えられます。 電源状態を確認して下さい。
点滅	電源投入直後は、回線の状態を確認するため、数秒間は点滅状態となります。 回線の状態が確認できると点灯状態に移行します。 電源投入からしばらくしても点滅状態が続く場合は、回線が正しく認識できない状態になっています。 回線接続を再度確認して下さい。
点灯	電源投入からしばらくすると、点滅から点灯状態になります。 点灯状態は、正常に動作ができる状態です。

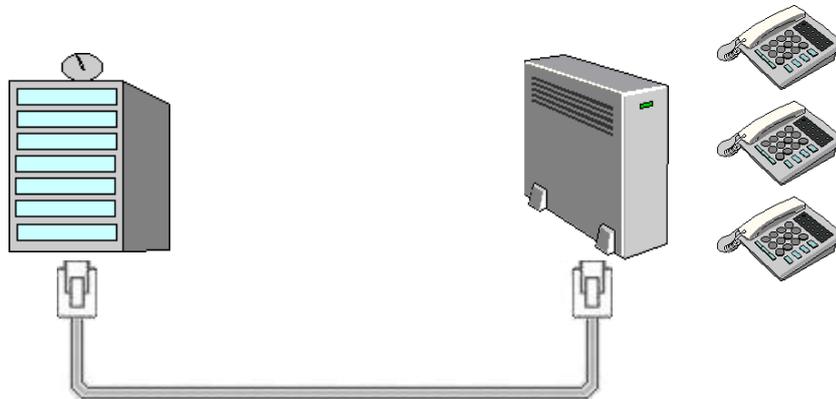
２．接続

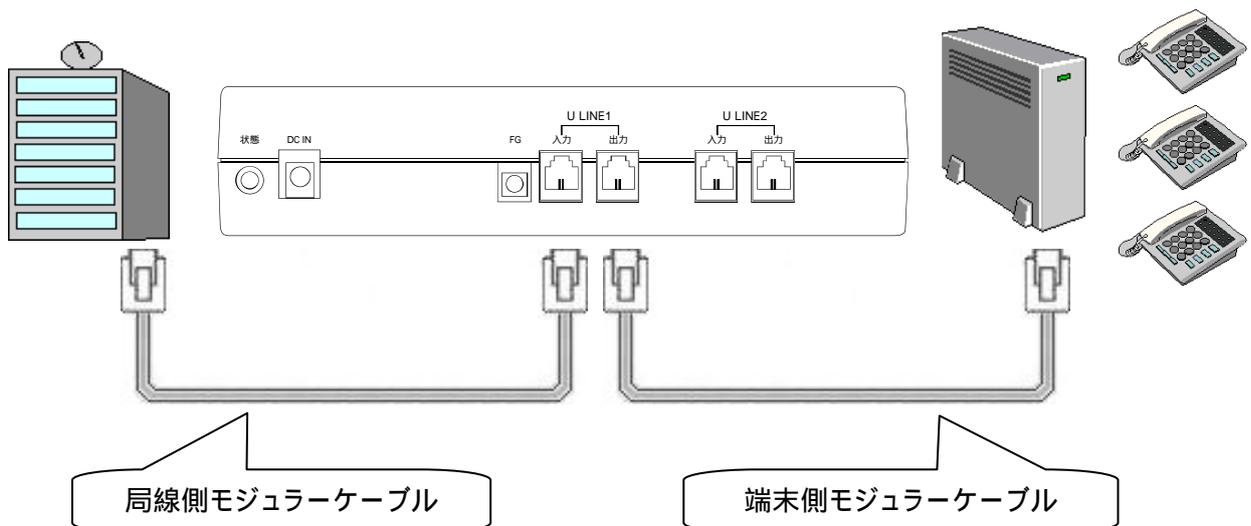
各機器の接続は、下記の手順に従ってください。
電源コンセントの接続は、必ず各機器の接続終了後に行うようにしてください。
接続前に本装置に接続する回線が準備されている必要があります。
詳しくは、『回線工事について』を参照してください。
本装置の電源がＯＦＦの時、回線はスルーとなります。

２．１　電話回線の接続

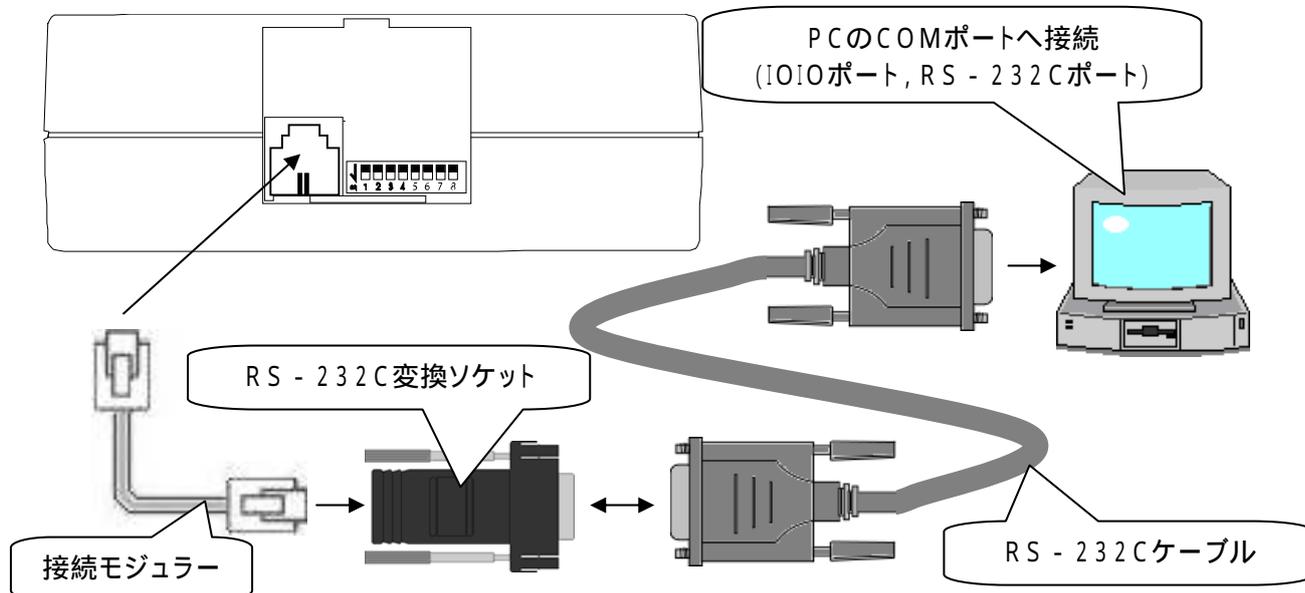
本装置は、電源がＯＮにされた際に各電話回線ポートの状態をチェックします。
そのため、電話回線の接続は、必ず、電源がＯＦＦの時に行うようにしてください。
回線の入れ替えや増設を行う際にも、本装置の一端電源をＯＦＦにしてから作業を行うようにしてください。

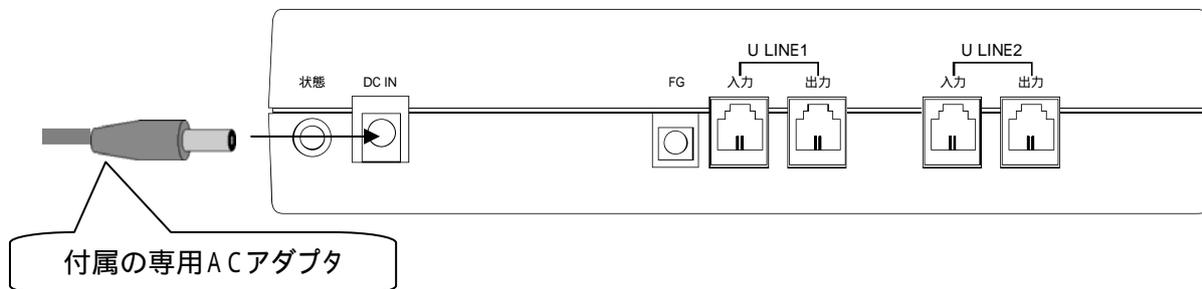
●本装置設置前の状態

本装置設置前は、局からの局線が直接端末に接続されています。

●本装置設置後の状態

本装置設置後は、局線側モジュラーケーブルを本装置の入力側に、対応した回線の出力側に端末側モジュラーケーブルを接続します。
入力端子と出力端子は、同じ回線番号どうしで接続します。
回線を接続する際は、回線の極性に十分注意してください。

※本装置に接続できる回線は、ＩＮＳ６４Ｕ点回線です。それ以外の回線は接続できません。

２．２　外部インターフェースと表示端末の接続

●本装置の外部接続端子1に付属のＲＳ－２３２Ｃ変換ソケット(接続モジュラー付き)を接続し、ＲＳ－２３２Ｃ変換ソケットに付属のＲＳ－２３２Ｃケーブルを接続します。
ＲＳ－２３２Ｃケーブルは、ＰＣのＣＯＭポート(IOIO、ＲＳ－２３２Ｃ、シリアル)に接続します。

２．３　電源の接続

●本装置の電源コネクタに付属の専用ＡＣアダプタを接続します。

＜注意＞

電源はＡＣ100Ｖ(50/60Ｈｚ)以外では絶対に使用しないでください。また、付属されている専用のＡＣアダプタ以外は絶対に使用しないでください。

２．４　本装置の増設

●本装置を増設する場合は、専用の増設インターフェースケーブルが必要になります。
●ＲＳ－２３２Ｃケーブルは、1台目（親機）からのみＲＳ－２３２Ｃ接続端末へ接続します。2台目以降はＲＳ－２３２Ｃケーブルを接続する必要はありません。
●本装置の増設最大数は、１０台までです。
●子機の電源を抜くと、その子機以降に繋がっている本装置の回線情報が送られなくなりますのでご注意して下さい。

2台目　子機

外部接続端子1

側面図

外部接続端子2

増設インターフェースケーブル

親機の外部接続端子2と子機の
外部接続端子1を接続する。

1台目　親機

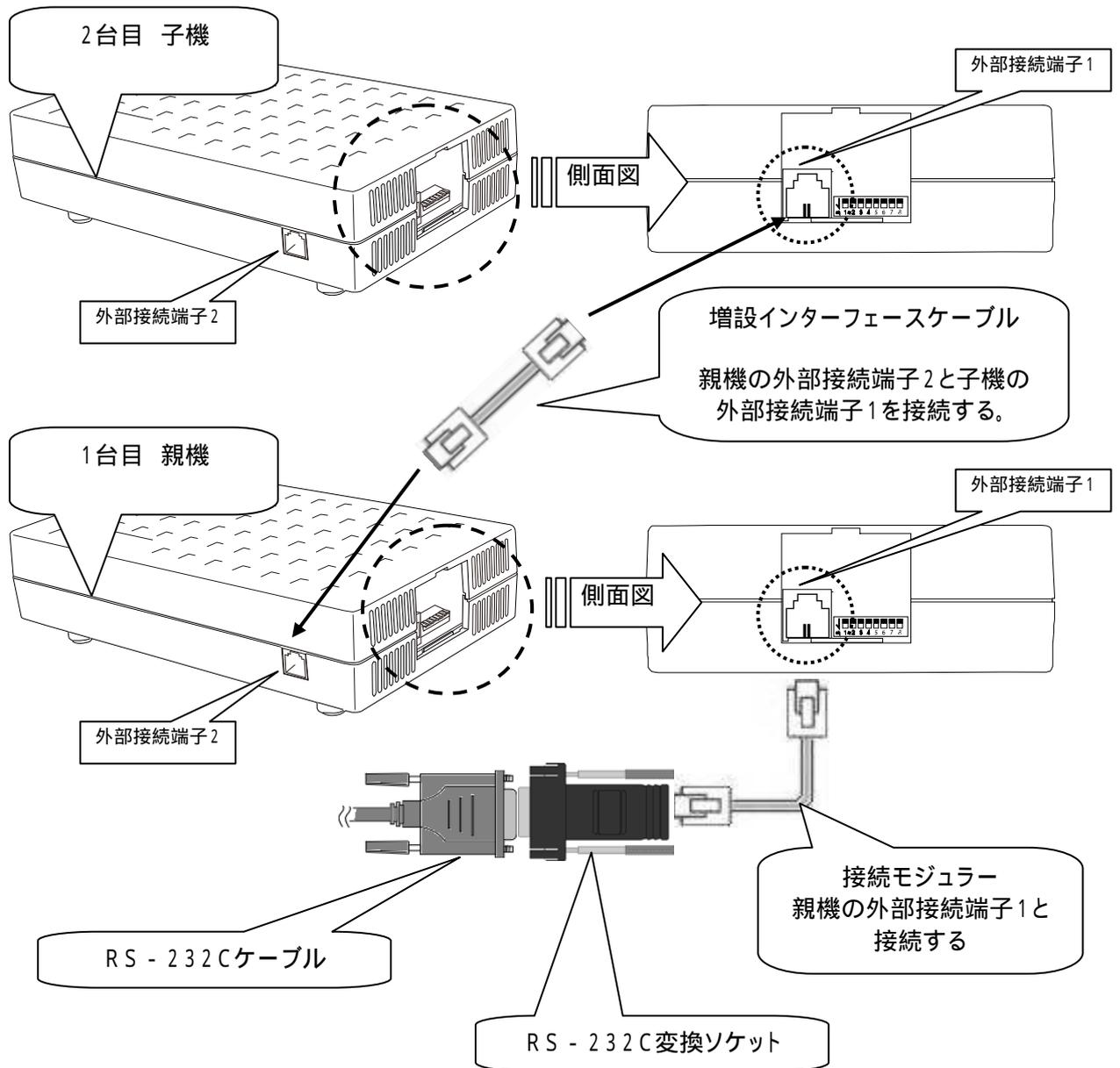
外部接続端子1

側面図

外部接続端子2

接続モジュラー
親機の外部接続端子1と
接続する

ＲＳ－２３２Ｃケーブル

ＲＳ－２３２Ｃ変換ソケット

３．仕様一覧

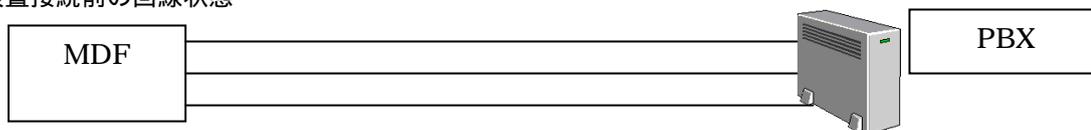
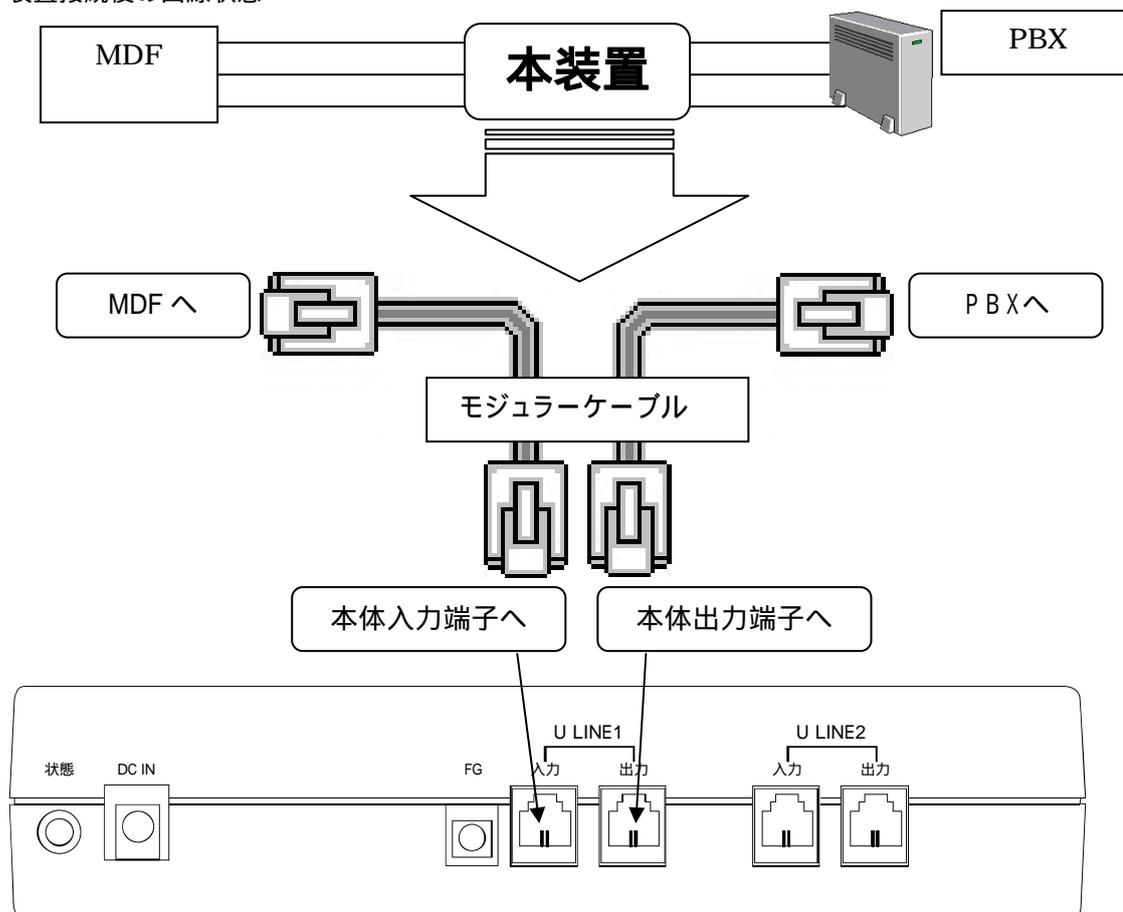
項　　　　　目	内　　　　　容
適用回線	ＩＮＳネット６４（基本インターフェース）
局線側収容回線	２回線（Ｕ点）
端末側収容回線	２回線（Ｕ点）
インターフェース仕様	ＴＴＣ　ＪＴ－Ｇ９６１準拠
インターフェース構造	２Ｂ＋Ｄ　（Ｂ：64kbps，D:16kbps）
接続方式	ＲＪ－１１モジュラープラグ（Ｕ点）
線路損失等化能力	最大 50dB（φ0.5㎜ ケーブル周波数 160kHz における値）
直流ループ抵抗	最大１５００Ω
起動種別	呼毎、常時
電源	ＡＣ１００Ｖ　50/60Hz　（DC12V/2A）
使用周囲温度	０℃～４０℃
使用周囲湿度	１０％～９０％（結露無きこと）
消費電力	２４ワット以下
外形寸法	約 208(W)×126(D)×48(H)　単位：㎜（ミリメートル）
本体重量	約４６０ｇ
認定番号	Ｃ０７－００９９００１
外部接続端子１	ＲＪ－１１モジュラープラグ
外部接続端子２	ＲＪ－１１モジュラープラグ
ＲＳ－２３２Ｃ	同期方式：非同期 パリティービット：無し ストップビット：１ビット データ長：８ビット 通信スピード： 38400bps（固定）
最大増設数※1	１０台
電源 OFF 時	回線スルー

※1　本装置の最大増設数です。

４．設置工事について

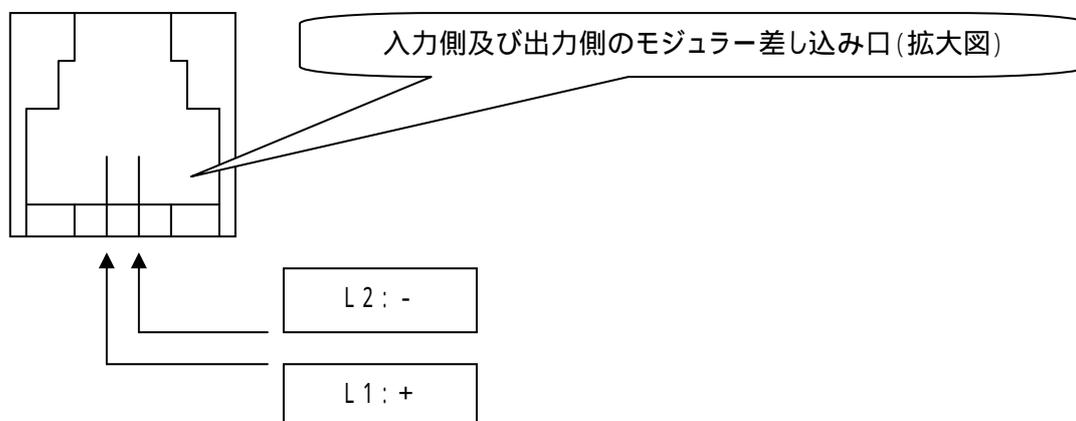
この項目は、回線工事業者向けの内容です。

４．１　事前工事について

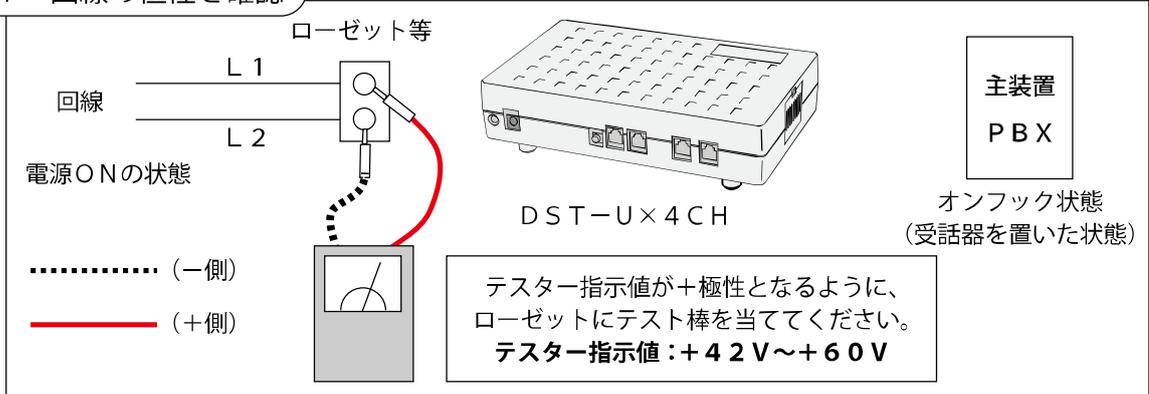
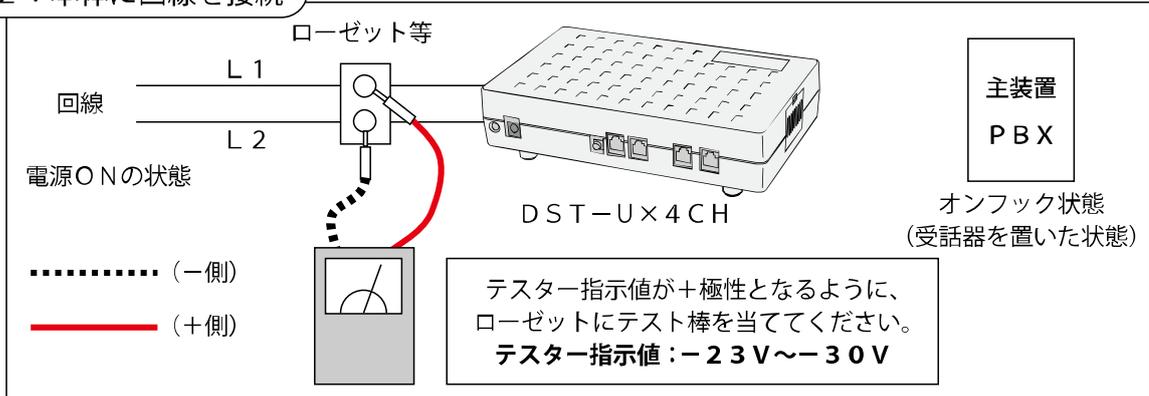
本装置への回線接続には、モジュラージャックで行う必要があります。
設置環境において、回線がモジュラージャックになっていない場合には、回線工事を行う必要があります。
新規に回線を増設される場合にも、モジュラージャックでの線出し工事をしておくようにしてください。
本装置に回線を接続する場合は、下図の様に局線側モジュラージャックと端末側モジュラージャックの２つに分離しておく必要があります。
本装置の回線接続（取り外し、再接続、増設など）を行う場合は、必ず本装置の電源をＯＦＦにしてから行うようにしてください。

※回線の極性には十分に注意してください。
　極性が異なると後位端末（ＰＢＸ，ＭＥ）等で発着信に障害が出る場合があります。

４．２　回線の極性（＋－）について

本装置へ回線を接続する場合は、Ｌ１が＋（プラス）、Ｌ２が－（マイナス）になるように配線を行い、接続して下さい。
電源がＯＦＦの状態では、回線スルーになるため、本装置の電源ＯＦＦの状態でも回線の極性に矛盾が発生しないように正しく接続を行う必要があります。
局線側及び端末側と極性を合わせるには、設置環境に併せて、本装置と接続するモジュラーケーブルの極性を合わせる必要があります。
極性が異なると、本装置に接続する後位端末によっては、発信及び着信に障害が発生する場合があります。

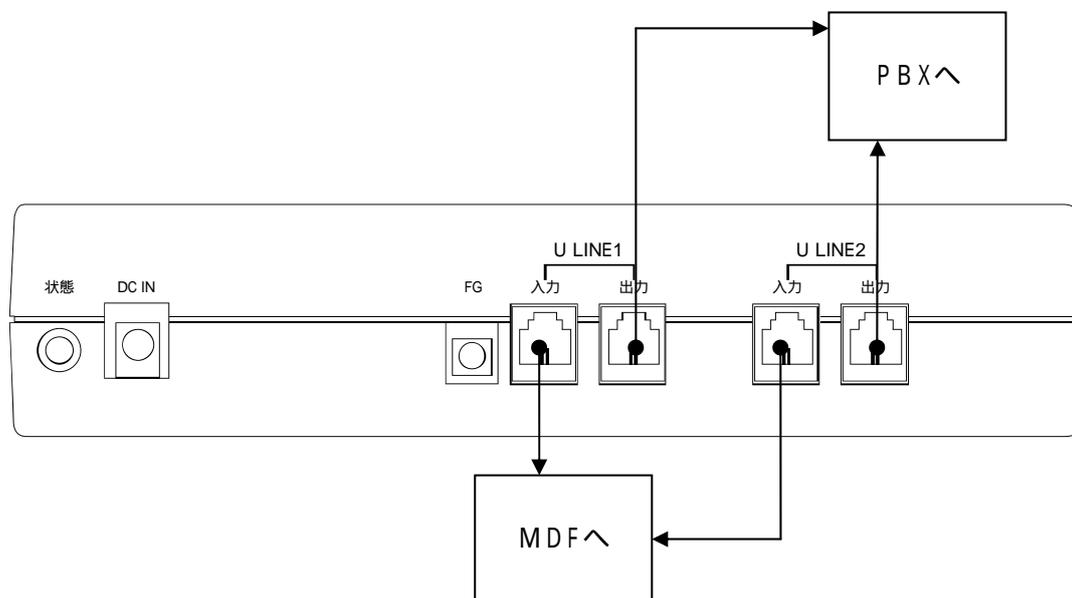
●主な障害
・回線未使用なのに、局線ランプが点灯し回線が利用できない。
・発信後、回線が切断されてしまう。
・発信しようとすると回線がビジーになってしまう。
・着信ができない。
・着信後、回線が切断されてしまう。

●接続例
ＭＤＦの極性と本装置の極性、ＰＢＸ（後位端末）との極性をモジュラーによって合わせます。
下記図の例では、ＭＤＦと本装置はストレート結線で、ＰＢＸと本装置はクロス結線で接続しています。

●極性あわせの方法について

本装置に回線を接続する前に、回線の極性を調べます。
回線の極性は、ローゼットなどを利用して、テスターで調べます。
※下記図では、DST－U×4CHが利用されていますが、本装置でも極性あわせの手順は同じです。

上記確認の通りであれば極性合わせはOKです。
次に、本体と主装置をモジュラーコードで接続し、本体の状態ランプが点灯すればOKです。
主装置に極性指定がある場合は、下記のようにモジュラーコードを交換し極性を合わせて下さい。
→ストレートコードでダメならクロスコードに交換します。
→クロスコードでダメならストレートコードに交換します。

※本装置の電源がONでもOFFでも主装置が動作する状態にする必要がありますので、注意して下さい。

４．３　配線について

モジュラーの配線は、各回線番号の入力側をＭＤＦ（局）側へ、出力側を後位端末（ＰＢＸ）側へ接続します。

４．４　本装置への電源投入時のご注意

電源を投入する場合は、回線が通話中で無いことを確認してください。
また、電話がかかってきていないことを確認してください。

４．５　こんな時は

①電話を掛けていないのにビジネスフォンの局線ランプが点灯している、又は発信できない
②電話がかかってきても電話が鳴らない
③電話がかかってきて1回なってすぐに回線が切れてしまう

・本装置入力側又は、出力側の極性が異なっている可能性があります。
　”（2）極性について”の内容通りに接続されているか確認して下さい。
　→極性を正しくします。
　→極性を正しくしても症状が改善されない場合は、販売店又は弊社までご連絡ください。

④ナンバーディスプレイ情報が接続端末に通知されない

・本装置とＲＳ－２３２Ｃで接続している端末間のＲＳ－２３２Ｃケーブルが正しく接続されているか確認してください。
　→ＲＳ－２３２Ｃケーブルの接続に問題が無く症状が改善されない場合は、販売店又は弊社までご連絡ください。

５．電文フォーマット

この項目は、ソフトウェア開発者向けの内容です。

本装置が取得した情報をＲＳ－２３２Ｃで接続された端末へ通知するための電文です。
本装置と接続端末間は、通知する情報が無い場合、アイドル（待機）状態となります。

●基本電文フォーマット

イベント通知方式では、下記の基本電文フォーマットによってイベントが通知されます。
基本電文（数字は全て16進）

①	A	B	C	D	E	②	F	③
2Byte	1Byte	1Byte	1Byte	2Byte	※	2Byte	1Byte	1Byte

※Ａの機能コードにより通知される情報携帯が異なります。

Ｎｏ	名称	長さ	１バイト目	２バイト目	備考
①	ＳＴＸ	２バイト	0x10	0x02	
②	ＥＴＸ	２バイト	0x10	0x03	
③	終了コード	１バイト	0xff	無し	

Ａ：機能コード（１バイト）

イベントの内容を設定します。
各イベントの内容によって電文内容は異なります。

送信系（端末は受信）		
コード	コマンド名	備考
０ｘ３０	立ち上がり通知	
０ｘ３１	ナンバーディスプレイ通知	
０ｘ３２	着信通知	
０ｘ３３	発信通知	
０ｘ３４	切断通知	
０ｘ３７	折り返しコマンド通知	
０ｘ３９	回線情報通知（ファシリティーデータ）※	
０ｘ４４	ステータス通知	
０ｘ４７	ダイヤリング通知	
受信系（端末は送信）		
コード	コマンド名	備考
０ｘ３８	上位コマンド	
０ｘ４１	回線閉塞開始要求	
０ｘ４２	回線閉塞解除要求	
０ｘ４３	ステータス確認要求	
０ｘ４５	回線切断要求	

Ｂ：端末番号（１バイト）

イベントの発生した端末番号を表します。
端末番号は回線毎に割り当てられるため、４ｃｈの場合、１台で２つの端末番号を使用します。
本機は、最大７台まで連結して使用できるため、最大値は１４（０ｘ３ｅ）となります。

装置	端末番号	内容
１台目	１，２	０ｘ３１，０ｘ３２
５台目	９，１０	０ｘ３９，０ｘ３ａ
７台目	１３，１４	０ｘ３ｄ，０ｘ３ｅ

Ｃ：回線番号（１バイト）
イベントの発生した回線番号を表します。
回線番号は、Ｂ１チャネルを１、Ｂ２チャネルを２としています。

端末番号	内容
１	０ｘ３１
２	０ｘ３２

回線番号の求めかた
Ｂで得られる端末番号に２をかけて、Ｃで得られた回線番号を足します。
例）
回線番号　＝　（（Ｂ＆０ｘ０ｆ）－１）×２＋（Ｃ＆０ｘ０ｆ）

Ｄ：データ長（２バイト）
Ｅに示すデータの長さを表します。
１６進数を上位、下位に分けてバイトのキャラクタ文字として設定します。

データ長	上位（１バイト目）	下位（２バイト目）
０	０ｘ３０	０ｘ３０
１０	０ｘ３０	０ｘ３ａ
７９	０ｘ３４	０ｘ３Ｆ
１００	０ｘ３６	０ｘ３４

各バイトの下位４ビットを抽出し、上位側に１６を掛けることで１６進数でのデータ長が取得できます。

Ｅ：データ（Ｄに示すデータ長分のバイト数）

Ｆ：ＢＣＣ（１バイト）
通知電文の整合性をチェックするためのＢＣＣ。
Ａの機能コード以降、ＥＴＸ迄の排他的論理和（ＸＯＲ）を設定します。

※ファシリティーデータに関する資料は、ＮＴＴのホームページよりダウンロードすることができます。
資料は、ＮＴＴ東西で同一です。

ＮＴＴ東日本：http://www.ntt-east.co.jp/gisanshi/
１．　発信者番号通知機能
http://www.ntt-east.co.jp/ISDN/tech/spec/pdf/isdn_gisanshi_4-2.pdf
８．　一般的なメッセージフォーマットおよび情報要素のコーディング
http://www.ntt-east.co.jp/ISDN/tech/spec/pdf/isdn_gisanshi_4-41.pdf
など

ＮＴＴ西日本：http://www.ntt-west.co.jp/info/gisanshi/
１．　発信者番号通知機能
http://www.ntt-west.co.jp/denwa/common/pdf/isdn_gisanshi_4-2.pdf
８．　一般的なメッセージフォーマットおよび情報要素のコーディング
http://www.ntt-west.co.jp/denwa/common/pdf/isdn_gisanshi_4-41.pdf
など

●電文フォーマット詳細

本装置からＲＳ－２３２Ｃで接続された端末に送信するコマンドです。

端末側では、各通知コマンドに対してレスポンス応答を行う必要があります。

①立ち上がり通知（０ｘ３０）

本装置が回線状態を認識し、動作可能な状態の時に通知する。

①	0x30	B	C	D		②	F	③
				0x30	0x30			

②ナンバーディスプレイ通知（０ｘ３１）

着信時に取得した発信者番号情報を通知する。

データ部（Ｄ）には電話番号情報がセットされる。

発信電話番号通知が無い場合は、データ長に０をセットしＤは無しとする。

非通知理由やその他回線情報は、回線情報（ファシリティーデータ）にて通知される。

ａ）番号通知がある場合

①	0x31	B	C	D	相手電話番号	②	F	③

ｂ）番号通知が無い場合

①	0x31	B	C	D		②	F	③
				0x30	0x30			

③着信通知（０ｘ３２）

着信時（局線側の着信）、端末側電話機オフフック時に通知する。

①	0x32	B	C	D		②	F	③
				0x30	0x30			

④発信通知（０ｘ３３）

発信（端末側からの発信）時の相手応答時に通知する。

ダイヤルした番号も合わせて通知する。

①	0x33	B	C	D	ダイヤル番号	②	F	③

⑤切断通知（０ｘ３４）

端末側回線オンフックにより通知する。

相手側のオンフック時には発生しない。

回線脱落時にも発生する。

①	0x34	B	C	D		②	F	③
				0x30	0x30			

⑥折り返しコマンド通知（０ｘ３７）
　端末側から送信した上位コマンドの折り返し電文を通知する。
　回線番号（Ｃ）は、０ｘ３０固定
　上位コマンド長は、最大１２７バイト

①	0x37	B	C	D	折り返しコマンド	②	F	③
			0x30					

⑦回線情報通知（ファシリティーデータ）（０ｘ３９）
　ナンバーディスプレイ通知とほぼ同時に通知する。
　着信電話の詳細情報が通知される。
　ＩＮＳ６４回線のファシリティー情報の抜粋情報となる。

①	0x39	B	C	D	回線情報通知	②	F	③

⑧ステータス通知（０ｘ４４）
　ステータス確認要求（０ｘ４３）に対する応答を通知する。
　回線番号（Ｃ）は、０ｘ３０固定
　状態　　０ｘ３０：開放状態
　　　　　０ｘ３１：閉塞状態

<table>
<tr><td rowspan="2">①</td><td rowspan="2">0x44</td><td rowspan="2">B</td><td>C</td><td colspan="2">D</td><td rowspan="2">状態
0x30 or 0x31</td><td rowspan="2">②</td><td rowspan="2">F</td><td rowspan="2">③</td></tr>
<tr><td>0x30</td><td>0x30</td><td>0x31</td></tr>
</table>

⑨ダイヤリング通知（０ｘ４７）
　発信（端末側からの発信）時の相手呼び出し前に通知する。

①	0x47	B	C	D	ダイヤル番号	②	F	③

●応答電文フォーマット詳細
　端末側で、本装置からの電文を受信した際に返却するコマンドです。
　コマンドは、１バイトのみを本装置に対して送信します。

0x06

※応答電文を送信しない場合、本装置はコマンド再送を４回まで行います。

●電文フォーマット詳細

本装置とＲＳ－２３２Ｃで接続された端末から本装置に送信するコマンドです。
装置側では、各コマンドに対してレスポンス応答を行います。

①上位コマンド要求（０ｘ３８）

端末側から送信したコマンドが、本装置経由で再度折り返しコマンドとして送信される。
本装置は折返コマンド（０ｘ３７）を端末側に送信する。
回線番号（Ｃ）は、０ｘ３０固定
上位コマンド長は、最大１２７バイト

①	0x38	B	C	D	折り返しコマンド	②	F	③
			0x30					

②閉塞開始要求（０ｘ４１）

指定単末の指定回線（２チャンネルとも）を閉塞する。
閉塞中は、全ての発着信を拒否する。

①	0x41	B	C	D		②	F	③
			0x30	0x30	0x30			

③閉塞解除要求（０ｘ４２）

指定単末の指定回線（２チャンネルとも）の閉塞を解除する。
閉塞解除で回線が利用可能になる。

①	0x42	B	C	D		②	F	③
			0x30	0x30	0x30			

④ステータス確認要求（０ｘ４３）

指定した端末の状態（閉塞中ｏｒ閉塞解除）の確認を要求する。
結果は、ステータス通知（０ｘ４４）コマンドで通知される。

①	0x43	B	C	D		②	F	③
			0x30	0x30	0x30			

⑤切断要求（０ｘ４５）

指定したチャネルを強制的に切断する。

①	0x45	B	C	D		②	F	③
				0x30	0x30			

●応答電文フォーマット詳細

端末側では、コマンドを正しく受信すると受信応答電文を返却します。
コマンドは、１バイトのみを端末側に対して送信します。

0x06

製品保証書

型名		製造番号	

保証期間		平成　年　月　日～　年　月　日まで
ご需要先	ご住所	郵便番号□□□-□□□□　TEL　－
	ご会社名	様
	ご担当者名	様　TEL　－
代理店 住所 氏名		TEL　－
営業所名 住所 担当者		営業所　TEL　－

この製品は下記の通り保証いたします。

1. この製品は、厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には、1年間無償で修理いたします。
2. 修理は、最寄りの代理店もしくは当社営業所・サービスセンターに、必ずこの保証書をご提示の上お申しつけください。
3. 無償修理期間であっても、下記に記載する項目に該当する場合は有償修理となります

4. この保証書は再発行いたしません。大切に保管ください。
5. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid in JAPAN)
6. 保証書に印鑑なきものは無効です。

次の場合には有償修理となります。

(ｲ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
(ﾛ) お買い上げ後の搬送、移動、落下等による故障および損傷。
(ﾊ) 付属機器、回線、故障および損傷。
(ﾆ) 火災、風水害、地震、雷その他の天災地変および異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
(ﾎ) 特殊環境（たとえば極度の湿気、塩害、ガス害、公害、塵埃、極寒など）による故障および損傷。
(ﾍ) 保証書のご提示がない場合。
(ﾄ) 保証書の紛失あるいは所定事項の未記入または字句を勝手に訂正された場合。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。